



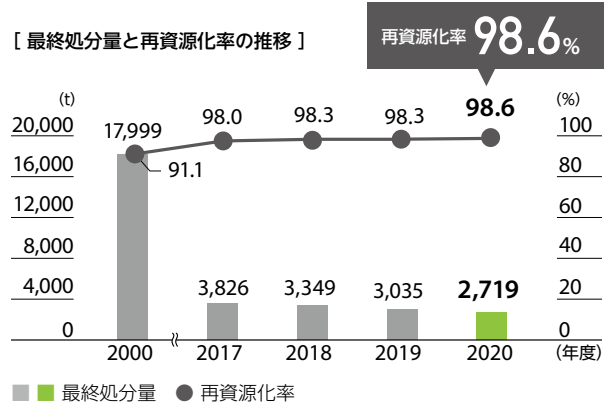
E 廃棄物の削減

基本的な考え方 循環型社会の実現に向けて、再生材などの環境配慮素材を積極的に利用するとともに、事業所・工場から発生する副産物の再資源化・再生利用に取り組み、廃棄物の発生を最小化しています。

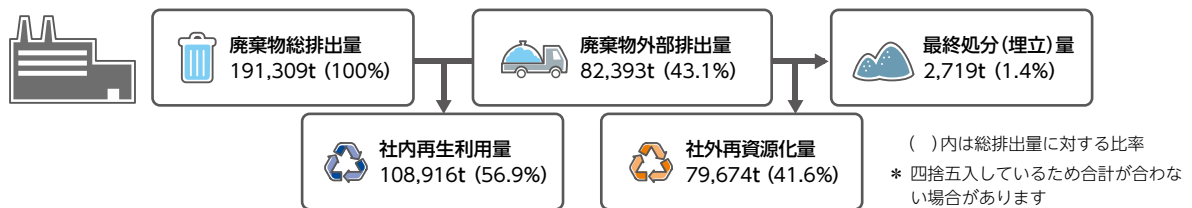
廃棄物の削減

2020年度の「エコチャレンジ020」では、最終処分量を4,000t以下、再資源化率を98%以上にすることを目標に設定し取り組んできました。事業所・工場では、外部に廃棄物の処理を委託する場合には、可能な限りリサイクル処理できる業者を選定し、再資源化率の向上に努めています。その結果、最終処分量は2,719t、再資源化率は98.6%となり目標を達成しました。今後も廃棄物の再資源化を進めることで、廃棄物の発生を抑制していきます。

【最終処分量と再資源化率の推移】



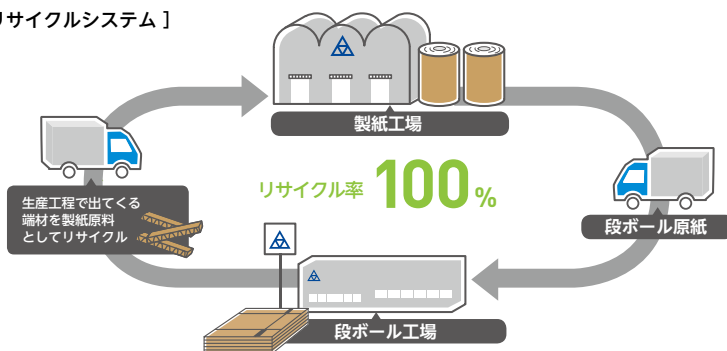
【廃棄物の処理状況】



■ 段ボール古紙の社内再生利用

当社グループ内において段ボール古紙を再生利用しています。段ボール工場の生産工程で発生する段ボールの端材は製紙工場から段ボール原紙を運んだトラックの帰り便で持ち帰り、製紙原料として100%リサイクルしています。

【社内リサイクルシステム】



製紙原料としてリサイクル

廃棄物の適正管理

事業活動に伴って発生した廃棄物は可能な限り分別・減容化した上で排出しています。定期的に自社内の廃棄物の保管状況に問題がないことを確認するとともに、原則として年1回以上の頻度で処理委託先を訪問し現地確認を行っています。また、産業廃棄物の不適正処理の未然防止と管理業務の効率化を目的として、電子マニフェストに対応した廃棄物管理システムを導入し、社外に委託した産業廃棄物が適正に処理されていることを確認しています。